

第4回 多職種合同カンファレンス

日時：平成23年2月29日(19:00～21:00)

場所：松戸商工会議所本館・大会議室

以下、135名が第3回多職種合同カンファレンスに参加した。

職種	参加者	スタッフ	職種別合計
医師	14	2	16
歯科医師・歯科衛生士	11	1	12
看護師(病院・診療所)	13	3	16
看護師(ST)	10		10
薬剤師	16	0	16
PT・OT	8	0	8
ソーシャルワーカー	13	1	14
ケアマネ	16		16
地域包括・在介	1		1
ショート	1		1
中夜所職員(介護予防推進課)	0		0
合計	103	7	110

アンケート結果

参加者110名中、98名からアンケートの回答が得られた(回収率:89.1%)。以下、98名のアンケート結果を示す。

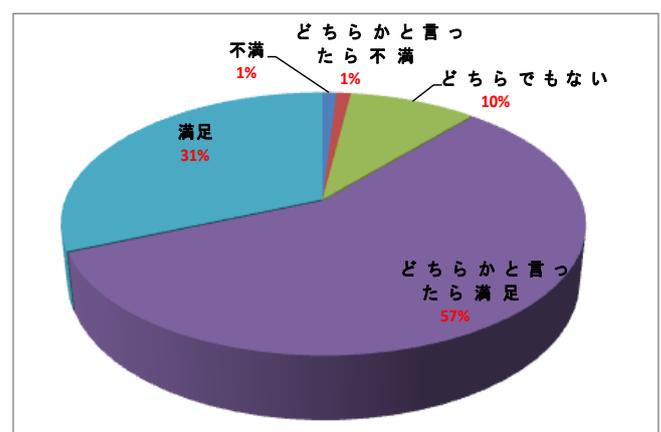
①グループディスカッションのやり方、②第4回多職種合同カンファレンスの満足度について5件法(「0.不満」～「4.満足」)で回答を求めた。各評価に関しては、「0.不満」または「1.どちらかと言ったら不満」と回答した者を不満群、「2.どちらでもない」を中立群、「3.どちらかと言ったら満足」または「4.満足と回答した者を満足群とした。

①グループディスカッションのやり方

不満群は2.1%、中立群は11.5%、満足群は88.6%

	度数	%	累積%
0 不満	1	1.0	1.0
1 どちらかと言ったら不満	1	1.0	2.1
2 どちらでもない	9	9.4	11.5
3 どちらかと言ったら満足	55	57.3	68.8
4 満足	30	31.3	100.0
合計	96	100.0	

無回答2名を除く

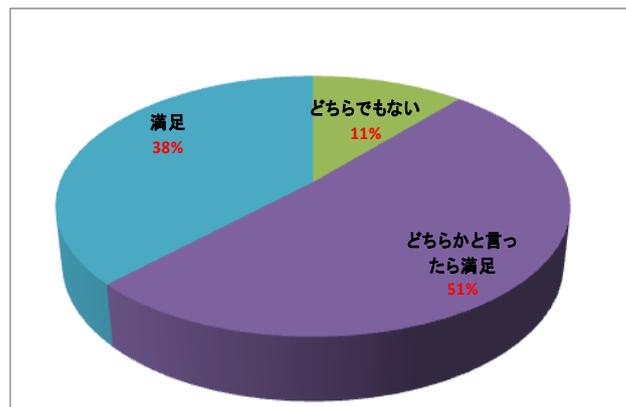


②カンファレンスの満足度

不満足群は 1.8%、中立群は 7.9%、満足群は 91.9%であった。

	度数	%	累積%
0 不満	0	.0	.0
1 どちらかと言ったら不満	0	.0	.0
2 どちらでもない	11	11.5	11.5
3 どちらかと言ったら満足	49	51.0	62.5
4 満足	36	37.5	100.0
合計	96	100.0	

無回答2名を除く



③カンファレンスの感想

1	多職種との意見交換・グループディスカッションに対する肯定的評価（20）
	この場に来て他職種の方々と話し合えることがすばらしい
	職種のちがう方々との話し合いはいろんな意見がでるのでとても参考になりました。
	多職種の方からの意見・ニーズが聞けてとても良かった。
	時間的な制約がありましたが、多職種の方の意見が聞けまして大変勉強になりました。
	なかなかすぐに解決はできない問題も多いですが、多くの方が同じような問題意識をもち、何とかしたいと感じていらっしやったことが分かり、共有できたことはよかったです。今後につながる方向へつながっていったらと思います。
	各職種での抱えている問題点を聴けたことは貴重であったと思います。自施設でもできそうなこともありましたので、取り組んでまいりたいと思います。
	それぞれ多職種の連携の方法を聞いて良かった
	グループ内に様々な職種の方がいることで、普段中々きけないようなことなどがきけて良い機会となりました。
	いろんな他職種と話し合いがもて、今後のとりくみがみえてきた。
	いろんな職種の方の意見がきけてよかった。
	難しい課題をいろいろな意見が出て、ためになりました。
	自分と同じ考え又、違った考えを聞くことが出来、よかったと思います。
	抱えてる問題を共有したり、多職種間で話し合うと色々なアイデアが出たり、ハバが広がるなと思いました。
	他の職種との連絡のとりにくさをみなが感じているということがわかってよかったと思います。
	様々な職種の方々の意見やアイデアをきいて、とても勉強になりました。自分1人では思いつかない解決方法や意見があるのだと思いました。
	自分の身近な問題を多職種の方々とディスカッションできてとても参考になった。
	状況、立場などにより色々違う意見や感想が聞けて勉強になりました。
	多職種で議論する機会がないので、さまざまな考えを聞いて良かった。
	多職種の意見、見方をきけて勉強になった。

	異業種の方の意見は大変参考になった。
--	--------------------

2	自己の気づき（自己の気づきや今後に向けて自分ができること、できないこと）（8）
	退院支援に向けての意識が高まりました。
	多職種連携および在宅医療を支える地域資源について今後の参考になった。
	今後の仕事に役立てる内容もあったので意識して行いたい。
	課題として考えていたことが、少しずつ動き始めているもの、ほぼ完成しているもの、これから頑張らなければいけないものに大きく分かれ、理解したので、今後の自分にできることについて改めて考えなければと思いました。
	ケアマネとしては多職種と連携をとれていると思っていましたが、他職種の方々は不十分さを訴えられた→意外だったので反省 今後はミニカンファを沢山開き、顔の見える関係としたい
	どのテーマにおいても「連携」が大切であることが挙げられましたが、実際に行動にうつせていないのが現状であると思いました。自分ができることから少しずつはじめていく必要があると、改めて考える機会になりました。
	普段顔が見えづらい多職種との連携していく方法がなんとなく見えた気がした。
	介ゴのわく組の中で薬剤師はかやの外的であるが、このような機会を通して薬局の役わりもアピールできて良かったと思います。介ゴ相談も薬局でする人も多く、薬剤師も介ゴに対してのスキルをつんで他職種の方にむすびつけていくようにしていきたい。

3	時間に関する要望（もう少し時間がほしかった、もっと議論したかった）（6）
	短時間であったので、少しテーマが多すぎたか？
	グループディスカッションの時間がもう少し欲しかった。
	展開が速くて議論が盛り上げてくると中断してしまう感じがもったいなく感じました。
	時間が限られているため、十分な検討と結論が得られなかったように思われました。
	時間がやや短く、話が深められていないと感ずることが多かったです。
	話し合っている途中で中断（次に行く）するので、残念な所もありました

4	多職種との交流・情報共有（6）
	他職の人と話ができた点がよかった
	多職種の方とお話しできてとても良かったです。（初参加）
	話しはつきず、時間はもっとほしいくらいですが、交流をきっかけにしたいです。
	ざっくばらんに話ができたので、良かったです。
	交流の場になりました。（初参加）
	日頃はなかなか交流がもてないのでこのような機会はとても大切だと感じました。

5	カンファレンス全体に対する肯定的評価（楽しかった、勉強になった）（5）
	とても良かったです
	楽しかった

	刺激になり、出会いがあり楽しいです。（初参加）
	短い時間でしたが楽しかったです。（初参加）
	楽しかったです。（初参加）

6	課題の解決策（5）
	3つのテーマに分かれての討論となったが、発表をきいていると各々で共通のキーワードが出てくる。その部分を重点に（先決に）取り組みまとめていくときちんとしたシステム（形）が出来上がるような気がした。
	データベースが必要なこと（それぞれの持つ情報を一本化していつでも使える状態にできる）
	初めての参加でしたが、皆が熱心にとりくまれていて感心しました。在宅を利用される方の個々のカルテにあたるノートでも1人に1冊あると、その方（利用者様）の事が見ればすぐ把握できると思います。
	日頃はなかなか連携できない職種とも常に顔の見える位置にあるようなシートの作成など今後の課題かと思えた。
	行政は何もしてくれないと思うのではなく、今はこれが必要と言うものを伝える時期になっているようです。一本化できていたらもっと本来の仕事をたくさんできるのにとおもいます。施設の空など、市が中心になり、PCで皆が見ることができるようになってほしいです。ケアマネも専門別の認定制度にすべき時期になっているのでは。

7	解決の見通し（5）
	解決への糸口が見えてきて、これが早く具体的に社会で活用されていけばいいなあと思います
	もっと深い討議ができたと思います。すぐには解決できないができる見通しが見えてきたように思いました
	第2回に参加した時まとまりがなくとらえどころがない様に思ったが、問題や具体的に今できること（明日）等考え教えられ良かった。
	多職種カンファレンスの重要性：何故連携がとりにくいのか？少しはその解決策が見えてきたような気がします。
	課題に対する解決方法を見出していけてよかったと思う

8	他職種の考え方の認識（職種での意見など、今まで気づけなかったことを再発見できた）（4）
	具体的な現在の問題をどう解決するかといった案は思い浮かびませんでした。各職種の在宅医療に対する思いを知ることができ励みにはなりました。
	それぞれの職種の抱える問題点を知ることができ、とても参考になりました。
	各職種の現状も理解することができ、貴重な意見もいただき良かったです。
	他の職種の現状やその職種しかわからない情報等を知ることができ、有意義でした。

9	運営の要望（4）
	色々な案が出ましたが、どのように施行していくのか方針が出ましたらご連絡下さい
	皆さんから出された意見を文章化して頂きたいです。
	事前にテーマ等（グループ）がわかると、準備ができるのでディスカッションも進むのではないかと思います。

	グループワークの手順説明が不十分
--	------------------

10	顔の見える関係づくり（3）
	顔の見える連携がとれる安心感。今後の支援に大いに役に立ちます。
	多職種の方と顔と顔との連携、コミュニケーションがとれて大変有意義でした。会うことで今後コミュニケーションがとりやすくなります。（初参加）
	新しい顔と出会えました。

11	運営についての肯定的評価（3）
	ポストイットから話題を広げるのは良いと思います。大きなテーマの中に複数の小テーマがあるとどうしても議論しきれなくなる面があり、深められないのが残念。 以前の会から議論のテーマをしぼれてきている点は評価できると思います。
	1つのテーマで意見交換することでそれぞれの職種が在宅に関する意識を高めることができたと思う。
	小グループでの討論、グループワークは発言しやすいし、とても良かったです。

12	大人数の参加者に対する驚きと希望（1）
	今日初参加ですが多職種の方がたくさん集まっていることに驚きました。

13	今後の企画について（1）
	多職種の方々と意見交換できたのは、とてもよかったが、やはり、それぞれの職種がどのような仕事で在宅に関わっているのかの具体的なことがまだ頭に入っていない。各職種の仕事内容を知れる場があるとよい。

14	多職種連携の重要性の認識（1）
	どのテーマにも通じることが各職種の連携だと感じた

15	その他（4）
	サービス担当者会議や退院調整会議に参加したことのない人や在宅のシステムや他職種への理解が不足している人と話すのが難しく、話を深めることができなかった一因のように思います。
	お互いの仕事内容の理解が不足していると、連携やそれが必須の在宅医療はうまく動かなくなると実感した
	次につながるかどうかが不安。本日のみにならないかどうかが気になる。
	一年間通して医師との連携（特に病院の）が課題となっていると思われました。